

近頃、ChatGPTの記事をネットや新聞で目にしない日はない。個人的なことだが、昨年12月にAIロボットを研究している大学院生の息子から興奮したLINEを受け取った。現状最強の汎用AIということであった。試しに『〇〇ホテルチェーンの上級会員として部屋のアップグレードを依頼する英語のメールを作成して』と日本語で入力すると、完璧な英語メールが返ってきた。英語をフランス語や中国語に差し替えてみても即座に返ってきたが、残念ながらこれら2か国語の素養がないので、質を確認するまでには至らなかった。

最近、病院業務が忙しくて、編集後記を考える余裕がないまま締め切りが迫っていた。確か、どこかの大学で卒業生が答辞をChatGPTにつくらせたという記事があったことを思い出し、自分もつくらせることにした。しかし、思うような文章が返ってこない。1時間さまざまな指示を入力し、最後は第1段落から第4段落までの内容を細かく入力しても満足する文章ではない。結局自分で書くことにしたわけだが、時間の無駄だったと怒りを感じる一方で、ChatGPTも僕の域にはまだまだ達していないなどほくそ笑んでいる自分もいた。

さて、今回の特集は「脊椎脊髄手術における内視鏡・外視鏡・顕微鏡の利点・欠点」である。高見俊宏編集委員の選んだ著者はまさに精鋭揃いで、内視鏡・外視鏡・顕微鏡の現状を詳細にかつ細かい点まで網羅している。有益なサポートツールであることは間違いなく、さまざまな欠点も今後改良が進んで解決され、ますます安全かつ的確に脊椎脊髄手術ができるようになるだろう。

外科医人生終盤にさしかかった筆者にとって、必要な手術では顕微鏡を使うが、一般的な手術では得てして裸眼のほうが慣れていて早いと選択しがちである。しかし、この特集を読んでみて、食わず嫌いはせずに外視鏡にもトライしてみたいと思った。慣れるまでには時間がかかって工夫も必要であろう。ふと、現状最強の汎用AIといえどもChatGPTを使いこなすにも工夫が必要なのは当たり前だと気づき、文句ばかり言っていた自分を恥じ入った次第である。

(永島英樹)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 36 No. 4
(2023年6月19日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,500円+税)

(配送料別)

年ごめ予約購読料 33,300円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2023.

Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。